

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3051	(H.24)No.	3051
-----------	------	-----------	------

事務事業名 昭和水路かんがい用ポンプ場維持管理補助金			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	松井 保	63-7635
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 11 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	321003
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	かんがい排水施設管理費
項	農業費	(小事業名)
目	農業基盤整備費	昭和水路かんがい用ポンプ場維持管理補助金

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p><対象者> 昭和水路水利組合 <算出基礎> 平成11年4月21日 起案「新規事業の創設について」で前年度実績を元に一律100,000円を定額補助</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>比奈知ダム建設に伴って、かんがい用固定堰が撤去されたことから、農業用水の取水方式をポンプ取水に変更したことによる維持管理経費に対して補助をすることにより、地区農業振興と用水の確保を図る。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	事業内容 ポンプ場維持管理等一部助成:100千円	事業内容 ポンプ場維持管理等一部助成:100千円	補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			ポンプ場維持管理等一部助成: 100千円	ポンプ場維持管理等一部助成: 100千円	ポンプ場維持管理等一部助成: 100千円
直接事業費	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 100	100	100	100	100
人工数					
職員	0.05人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 382千円	455千円	455千円	455千円	455千円
+ 総事業費	(0千円) 482千円	555千円	555千円	555千円	555千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		0	0	0	0	0
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
例年どおり定額補助を行い、地区農業振興と用水の確保を図ることができた。	地元受益者の負担軽減のため継続して支援をしていく。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
施設の老朽化による修繕料等が増えていくことが予想される。	高額修繕にかかる補助金の増額について要望が寄せられている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

今後も施設の老朽化による修繕料等が増えていくことが予想されるため、地元受益者の負担軽減のため継続して支援をしていく必要がある。

特記事項